



2017. 9. 10

第1532号

日本共産党
宮古地区委員会
市内宮町4-6-49
電話62-5808
FAX 62-3897

しんぶん赤旗
日刊紙3497円
日曜版 823円

自動閉鎖システムは難題多し

台風被害対策こそ緊急課題

岩手県は津波防災対策で水門や陸閘の自動閉鎖システムを採用することを決定、宮古市では津軽石などで試験操作を実施しています。

同システムの導入は東日本大震災・津波災害時に水門などの閉鎖作業で

消防団員が命を無くしたことから、災害時に救難活動を担う団員等の犠牲者を無くするのがねらいです。

水門は元々が自動閉鎖するはずでしたが、東日本大震災・津波時に津軽石川、田老、小本地区の



工事費大幅増、工期大幅延長の水門工事

閉伊川水門は工事に着手していますが、完成時期は予定より大幅に遅れています。共産党は東日本大震災で津波を遡上させ、遊水池的な機能を發揮した閉伊川への水門工事に反対ですし、市民の中にも共感する声があります。

早急な対策が必要なのは毎年予想される洪水を兵器廃絶へ、改訂学習指

困(子ども食堂、ブラックバイト、奨学金)、核

母親大会 核兵器の無い未来を 心がぶれない女性らしさに学ぶ

「子どもたちに『核兵器のない平和で明るい未来』を手渡すためにともな力をあわせましょう」の大会アピールを採択・閉会した日本母親大会は盛岡市で開催され、8月19日と20日の2日

導要綱で学校はどう変わる、豊かな放課後を子どもたちに、障害のある子もない子ども豊かな発達、地域づくり・学校づくりや農業・漁業・地域を共同の力でよみがえらせよう、など参加したか



日本母親大会分科会会場=岩手大学

大盛況。助言者の石山先生に負けないくらい、直接、韓国の元慰安婦の方々や日本政府機関などと関わって活躍している様々な方が大勢おられ、みなさんの実体験のお話はとても圧巻でした。なるほどこの、心がぶれない女性らしさはこうやって生きるんだ…と勉強になりました。(つづく)

9月決算議会議事開始
宮古市9月定例議会(決算議会)が始まります。主な日程をお知らせします。
■一般質問/9月26日(火)~29日(金)の4日間の予定。発言順番などはこれから。
■決算審査/10月2日(月)~5日(木)
■市長総括質問/10月11日(水)
■本会議/開会日9月13日、最終日10月12日の予定です。

8月26日(土)宮古シーアリーナで日本平和委員会宮古支部の結成総会が行われ、県会長の諸富隆(北大名誉教授)も参加しました。

宮古下閉伊支部を発足

参加者はドキュメンタリー映画「白旗を掲げる少女」を視聴、平和への思いや体験などを話し合いました。
第5福竜丸の被爆被害では宮古市でも関係者が

いたことが判明「その当時、父はマグロの刺身を食べようとしなかった」と報告して参加者に驚きを与えました。総会では支部長に中村國雄氏(全

日本年金者組合宮古支部長)、事務局長に木村明氏(宮古民商事務局長)など役員を選出、閉会しました。会員の要求を基礎に平和を守る活動方針も決めました。



「歌は世につれ、世は歌につれ」。歌謡番組の司会者が好んで使った言葉。

▼戦後、並木路子さんのヒット曲「りんごの唄」は庶民に希望を与えた。焦土から復興へ歌は「二人で歌えばなおお楽し、みんなで歌えばなおお楽し」と▼歌は貧しさに耐え、懸命に働く人々を癒した。その努力は高度経済成長を実現。東京オリピックは世界に日本の復興を宣言する舞台。そして2度目のオリンピック▼今の世相は戦前回帰と見間違えよう。北朝鮮のミサイル発射や核実験など。指導者の判断ミスは戦争と隣り合わせだ。米国のワシントンポストは日本の核武装を期待▼赤いりんごは、敗戦から平和な日本の象徴。赤ちゃんの産声は未来に繋がっている。白旗は降伏の意味。かつて、赤と非難された共産党は東京都議選挙で躍進。回帰を阻止する。